

東北メディカル・メガバンク事業へご協力いただいた皆さまへ

東北メディカル・メガバンク事業へご協力いただいた方からお預かりした情報は、「バイオバンク」として保存され、審査を経たうえで、その一部が東京大学にも「分譲」され、研究利用されます。私たちはその情報を利用して腎臓病の研究を行ないます。

【研究課題】

腎機能障害を検出する新規尿検査法の開発

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 小児科

研究責任者 張田豊・准教授

担当業務 検体・データ収集・データ解析

【研究期間】 承認日～2026 年 3 月 31 日

【対象となる方】

東北メディカル・メガバンク計画に従って 2.7.1 三世代コホート ベースライン調査 73K (2020 年 11 月 30 日リリース) 2.3.2 地域住民コホート特定健診相乗り型ベースライン調査 TMM 67K (2021 年 5 月 13 日リリース) に参加された方。

【研究の意義】

私たちは尿検査で腎機能を評価する新しい検査法を開発しています。この検査系を確立し、慢性腎臓病の早期発見を目指したいと考えております。

【研究の目的】

慢性腎臓病は国民の 10%以上が罹患する国民病です。慢性腎臓病の進行過程では、不可逆的な腎線維化により腎臓を構成する機能単位であるネフロンが減少します。このプロセスは原疾患によらない末期腎不全への共通経路であり、この進行の早期発見は我が国が取り組むべき極めて重要な医療課題と考えます。私たちはすでに尿中細胞外小胞を用いて早期発見のためのバイオマーカー候補を同定致しました。このバイオマーカーを用いた新規尿検査法の精度や正常値の評価を本研究で多数の検体を用いて行っていくます。

【研究の方法】

各コホートに参加された方の尿検体と情報を取得致します。東京大学では、個人を同定できる情報(氏名、生年月日等)は削除され、匿名化されている情報のみを使用します。収集した尿検体と情報を利用して新規尿検査法の精度や正常値の評価を行います。この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。すでに東北メディカル・メガバンクで収集された血液検査や尿検査結果、情報を利用して行う研究です。患者さんに新たにご負担いただくこと

はありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。収集した情報は東京大学医学部小児科研究室で、パスワードロックをかけたパソコンで鍵のかかる場所で厳重に保管します。この研究で使用する情報はすでにどの個人のものが特定できない状態で収集されたデータのため、あなたの試料や情報・データ等を特定することはできません。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならない形で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、データを完全に消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

本研究の結果として特許権等が生じる可能性があります、その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関及び研究従事者等に属し、研究対象者はこの特許権等を持ちません。また、その特許権等に基づき経済的利益が生じる可能性があります、これについての権利も持ちません。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部小児科の運営費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2021年8月

【連絡先】

研究責任者：張田豊

連絡担当者：滝澤慶一

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 小児科

Tel: 03-5800-8659 (内線 33456) Fax: 03-3816-4108